

新潟県のたばこ対策に関する現状と取組

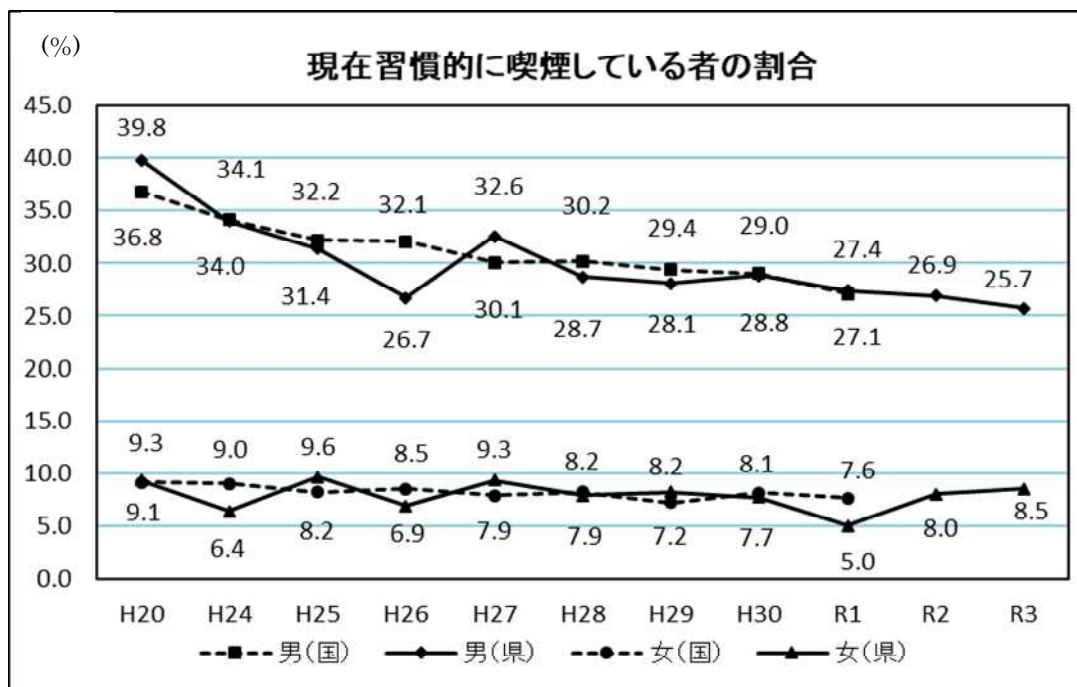
新潟県では、健康にいがた21（第3次）及び新潟県がん対策推進計画（第3次）においてたばこ対策について定めており、次の目的（Ⅰ 喫煙率の減少（成人）、Ⅱ 未成年者の喫煙経験率の減少、Ⅲ 受動喫煙の防止）の達成に向け各種施策に取り組んでいる。

Ⅰ 喫煙率の減少（成人）

1 現状

(1) 現在習慣的に喫煙している者の割合

- 男性は国・県とも減少傾向にあるが、未だ4人に1人が習慣的な喫煙者である。
- 女性の習慣的な喫煙者は10人に1人以下程度で国・県ともほぼ横ばいで推移。

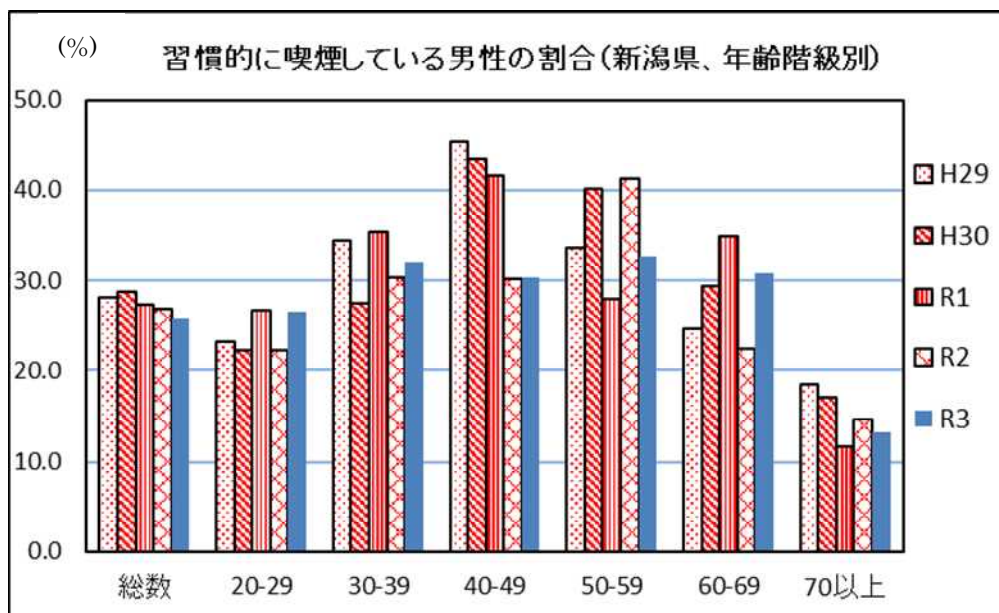


※国民健康・栄養調査（R2,R3）は新型コロナウイルス感染症の影響により調査中止
 （出典：県「県民健康・栄養実態調査」、国「国民健康・栄養調査」）

(2) 習慣的に喫煙している者の割合（男女別、年齢階級別）

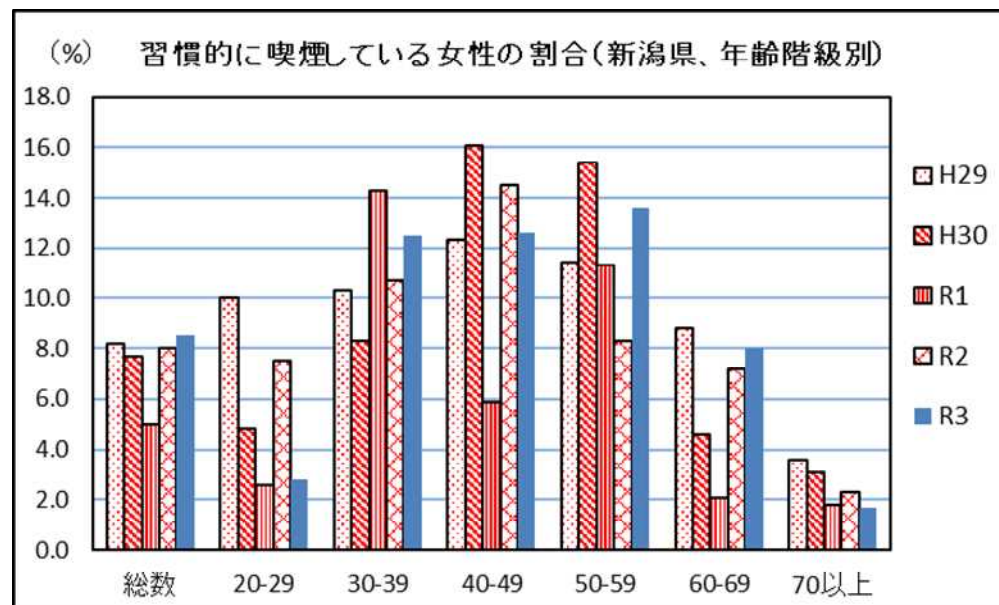
○ 男女ともに50歳代の喫煙率が最も高い。（男性32.7% 女性13.6%）

男性



	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳-
H29 (n=789)	28.1%	23.2%	34.5%	45.3%	33.6%	24.6%	18.4%
H30 (n=758)	28.8%	22.2%	27.5%	43.4%	40.2%	29.4%	17.1%
R1 (n=580)	27.4%	26.7%	35.4%	41.6%	28.0%	34.9%	11.6%
R2 (n=821)	26.9%	22.2%	30.3%	30.1%	41.2%	22.4%	14.7%
R3 (n=743)	25.7%	26.5%	32.1%	30.4%	32.7%	30.8%	13.3%

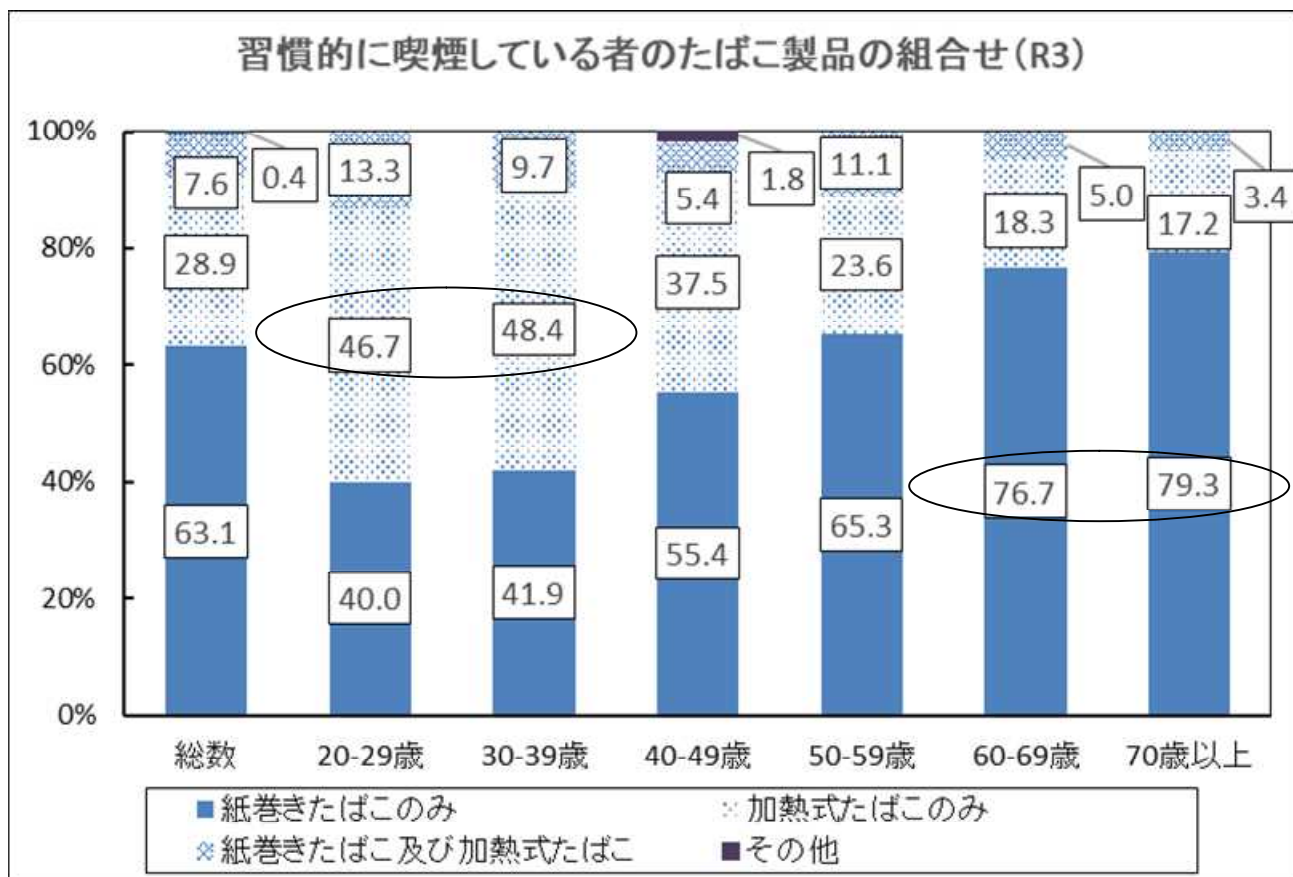
女性



	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳-
H29 (n=1,106)	8.2%	10.0%	10.3%	12.3%	11.4%	8.8%	3.6%
H30 (n=988)	7.7%	4.8%	8.3%	16.1%	15.4%	4.6%	3.1%
R1 (n=644)	5.0%	2.6%	14.3%	5.9%	11.3%	2.1%	1.8%
R2 (n=988)	8.0%	7.5%	10.7%	14.5%	8.3%	7.2%	2.3%
R3 (n=883)	8.5%	2.8%	12.5%	12.6%	13.6%	8.0%	1.7%

(3) 習慣的に喫煙している者のたばこ製品の組合せの割合

- 年齢が上がるほど、「紙巻きたばこのみ」の割合が高い。
- 20代、30代の過半数が加熱式たばこを使用しており、若年層を中心に加熱式たばこが普及している。



たばこ製品	総数 (n=263)	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
紙巻きたばこのみ	63.1%	40.0%	41.9%	55.4%	65.3%	76.7%	79.3%
加熱式たばこのみ	28.9%	46.7%	48.4%	37.5%	23.6%	18.3%	17.2%
紙巻きたばこ及び加熱式たばこ	7.6%	13.3%	9.7%	5.4%	11.1%	5.0%	3.4%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

(出典：県民健康・栄養実態調査)

2 県の取組

(1) 健康づくり県民運動（ヘルスプロモーションプロジェクト）（R1～）

健康づくり県民運動（ヘルスプロモーションプロジェクト）として、すべての県民が生き生きと暮らせる「健康立県」の実現を目標とし、「生きがい・幸福度」を軸に、「食生活」、「運動」、「デンタルケア」、「たばこ」、「早期発見・早期受診」の5つのテーマで県民運動を展開。

ワーキンググループでの意見と「健康立県にいがた」のロゴマーク、スローガンを軸に、健康意識を高める具体的な行動に向けて、5つのテーマに対してキャッチフレーズを作成した。

はじめよう、

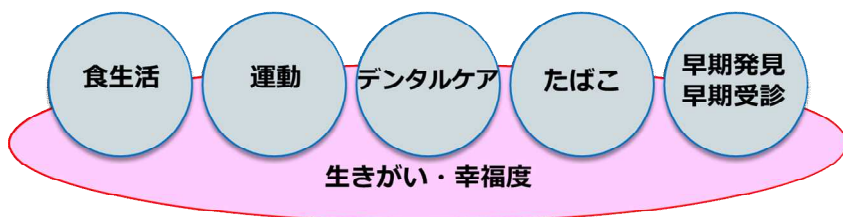
けんこう

time

スローガン



ロゴマーク



【テーマ別キャッチフレーズ】

食生活	からだがよろこぶ、一皿を足そう。
運動	意識ひとつで、すべてが運動になる。
デンタルケア	あなたのための、歯のプロを。
たばこ	たばこのない一服もある。
早期発見・早期受診	健診・検診で未来の自分を、見つめよう。

○令和4年度の取組

- ・にいがた健康経営推進企業事業の拡充
- ・がんイベント（新潟日報社主催）での講演
- ・健康立県にいがた公式 Twitter を活用した情報発信
- ・県内美容室からの情報発信
- ・地域機関による普及啓発の実施
- ・Web 広告等を活用した県民運動の周知 等

(↓) にいがた健康経営推進企業事業の取組

にいがた健康経営推進企業

新潟県は従業員の健康づくりに取り組む企業等を募集します！

登録企業への県の支援策

- 登録企業に登録証・記念品を交付します
- 優秀な取組を行う企業は県知事表彰を行います
- ロゴマークを企業ホームページや名刺等に使用できます
- 一定の要件のもと、健康づくり補助金を交付します
- 県のホームページや公式Twitter等で企業PRできます
- 建設工事入札参加資格の加点对象となります
- ハローワークの求人票に記載ができます



▲登録証 ▲ミニのぼり

登録企業が取り組む内容は次の6分野

1. 喫煙・飲酒
[禁煙分煙・適正飲酒の推進]
健康リスクの普及
卒煙教室
休肝日設定の推奨など

2. 健(検)診
[健(検)診の受診推奨]
受診推奨、受診のための休暇制度
など

3. 栄養・食生活
[食生活の改善]
減塩、野菜摂取、
朝食摂取の呼びかけ、
食堂でのヘルシーメニュー提供
など

4. 身体運動・運動
[運動習慣定着の推進]
運動教室、
就業後のスポーツ活動推奨
など

5. 歯・口腔の健康
[口腔衛生・歯科検診の推進]
昼食後の歯磨き、
歯の健康教室など

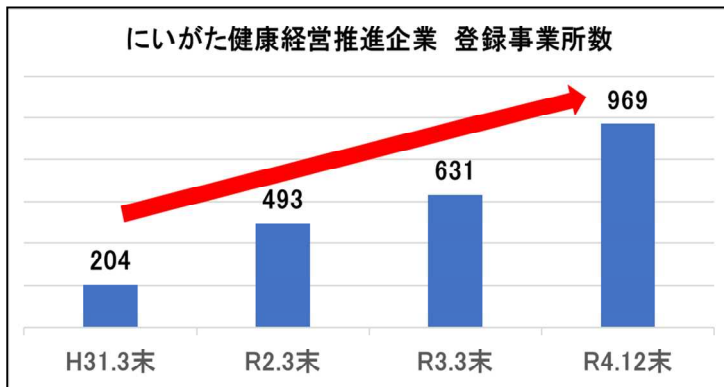
6. こころの健康
[メンタルヘルス対策の推進]
メンタルヘルス講座、
相談窓口の設置、
リフレッシュ休暇制度など

1つ以上の分野での取組を実施！

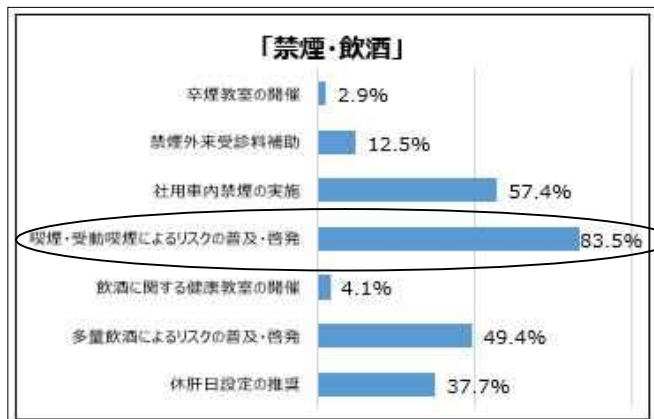
登録・更新の手続き [登録方法など、詳しくはこちらをご覧ください。](https://www.kenko-niigata.com/) <https://www.kenko-niigata.com/> 健康にいがた21 検索

(←) 働く世代は多くの時間を職場で過ごす人が多いことを踏まえ、企業が自ら従業員やその家族等の健康づくりに取り組む「健康経営」を促進させる「にいがた健康経営推進企業」の登録制度をR1より開始。

(↓) 健康経営に取り組む企業は年々増加



(↓) 「喫煙・飲酒」は、「健(検)診」に次いで他分野よりも高い割合で取り組まれている。そのうち最も取り組まれているのは「喫煙・受動喫煙によるリスクの普及啓発」で83.5%。(R2)



(↓) がんイベント(新潟日報社主催)の様子



(↑) (→) がん検診の重要性、たばこの健康影響等について松本福祉保健部長が講演

受動喫煙防止対策強化の必要性

- 国民の **8割以上は非喫煙者**
- 喫煙率は大幅に低下

(平成27年国民健康栄養調査)

- **妊婦、子ども、がん患者など全ての国民を受動喫煙による健康被害から守る**

○ 受動喫煙を受けている者の**り患リスクは高い** (平成28年国立がん研究センター発表)

- ・肺がん **1.3倍** ・虚血性心疾患 **1.2倍**
- ・脳卒中 **1.3倍** ・乳幼児突然死症候群(SIDS) **4.7倍** など

○ 少なくとも**年間1万5千人**(交通事故死者数の約4倍)が、受動喫煙を受けなければ、がん等で死亡せずに済んだと推計

* 肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群(SIDS)
[推計方法] 各疾患の死亡数の何%が受動喫煙によるかを計算し、その割合を年間死亡者数に掛けて算出

出典 厚生労働省資料より抜粋

(↓) 健康立県にいがた公式 Twitter (フォロワー数 5,066 人 (R5.1.11 時点))



(↓) 健康立県公式アンバサダーによる発信 (BSN アナウンサーイケメン四銃士)



(↓) 美容室の顧客に対する「健康と美容」をセットにした発信

“きっかけ”づくりから、はじめよう
健康立県にいがた2022年度事業

Health Beauty Project

2022.9/1thu - 11/30 wed

はじめよう、けんこうtime

Health Beauty Projectとは

新潟県は、すべての県民の皆様が生き生きと暮らせることを目指し、健康づくり県民運動「健康立県にいがた」に令和元年度から取り組んでいます。今年、ズバリ！「健康立県にいがた」の実現を目指し、「健康と美容」をセットにした「ヘルスビューティープロジェクト」を行います。美容の基本は健康。そんなメッセージを多くの県民の皆様にお伝えしたいと考えています。簡単なヘルスビューティークイズに参加いただき、自身の美容と健康をみつめてみませんか。

参加方法

STEP 1

アンケートに回答してから、さあ、スタート！

STEP 2

ヘルスビューティークイズ
美容と健康 一緒にかなえちゃおうクイズに参加！

STEP 3

ヘルスビューティーのヒ・ソ・ト

(↓) クイズ内容 (抜粋)

○たばこ (吸わないを日常にヘルスビューティー)

Q3 新潟県が県民の皆様にも勧められているたばこ対策として、正しいのは次のうちどれ？

- ①空気清浄機を使用すれば、たばこの煙はきれいになる。
- ②加熱式たばこにすれば、有毒物質は発生しない。
- ③たばこのない一服もある。

(↓) 回答・解説画面

たばこ煙の有毒物質の97%は、一酸化炭素、ニコチン、ダイオキシンなどのガス成分で構成されており、たばこ煙が空気清浄機を通過しても、ガス成分は除去できず、そのまま排気口から排出されます。

Q3 新潟県が県民の皆様にも勧められているたばこ対策として、正しいのは次のうちどれ？

A ③たばこのない一服もある。

解説 たばこは、吸っている本人はもちろん、周囲にも受動喫煙というかたちで悪影響を及ぼし、日本では年間1万5千人の方が受動喫煙で亡くなっていると言われています。また、美容面においても大きな悪影響を及ぼします。たばこを吸うとビタミンCが破壊されるため、しみやそばかすなど色素沈着をおこしやすくなり、肌のハリ・ツヤが失われ、しわも出来やすくなります。ご自身のためにも周囲の方のためにも、「たばこのない一服」を考えてみてはいかがでしょうか。

(2) 禁煙外来情報の提供

健康にいがた 21 ホームページでの公表状況

年度（時点）	登録件数	うち保険適用
H28（H29.3 現在）	124	109
H29（H30.3 現在）	130	115
H30（H31.3 現在）	128	113
R1（R2.3 現在）	132	117
R2（R2.11 現在）	131	116
R3（R3.11 現在）	128	113
R4（R4.12 現在）	113	99

(3) 若年女性の喫煙対策

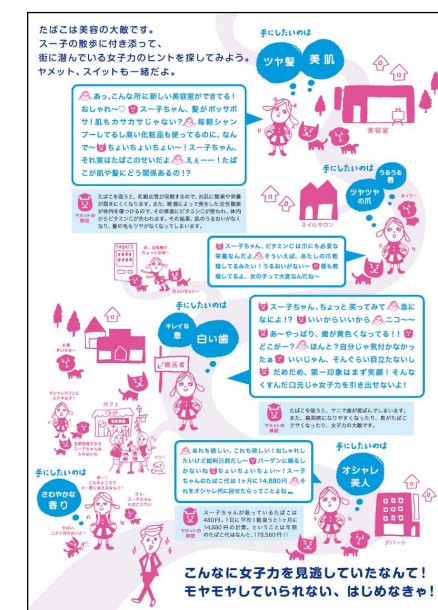
妊娠・出産・子育てなど、喫煙による影響を受ける機会の多い若年女性の喫煙率を抑制するため、喫煙防止及び禁煙支援に関する普及啓発を実施した。

① 新成人への働きかけ（H27～）

年度	成人式でのリーフレット配布実施市町村と配布数						
	新発田市	魚沼市	糸魚川市	五泉市	湯沢町	津南町	その他
H27	1,100	200				50	
H28		400			100		
H29	希望25市町村へ配布（計12,290部）						
H30		300			90		
H31		400	200		90		
R2	1,000		380		70		
R3	2,000			450	100		
R4	県HPからリーフレットをダウンロードし成人式で配布						



啓発ポスター



啓発リーフレット ※三ツ折の形で配布

② 若年女性向けのコミュニティサイト「にいがた禁煙女子」の開設・運営（H23～R3）

ア 目的

仲間と一緒にコミュニケーションをとりながら禁煙することを目的に、若年女性が利用する機会の多いインターネット上にサイトを設け、禁煙希望者の禁煙を支援する。

イ 平成 29 年度実施内容

- コミュニティサイト改修
(禁煙女子漫画の掲載)

王道少女漫画のテイストでシリアスに、かつユーモアを含んだ全3話の漫画を掲載。

正しいアドバイスを含めた禁煙に関する情報提供を実施。



ウ 令和 4 年度の取組

- 健康立県にいがた公式 Twitter にて禁煙女子漫画を発信。
アンケート機能等により、気軽に県民の声を聴くことが可能となった。

アンケート機能を活用 (→)

「あなたの”たばこに代わる一服”は何ですか？」

健康立県にいがた
@Niigata_kenko

【アンケート】「皆さんの #たばこ に代わる一服は何ですか？」

いつもお仕事お疲れ様です 🍷 😊

こんな時、ほっとひと息できる、自分だけの #一服は何ですか？
皆さんの #おすすめ 教えてください 🙌

たばこを吸う人も、吸わない人も、気軽にポチッと #投票 してください 📄

#健康立県にいがた #禁煙

良い香りで周りの人も幸せ コーヒー、お茶	56%
疲れたときには甘いもの チョコ、飴、クッキー	40%
低カロリーで高たんぱく するめ、おつまみ系	4%
その他 (リプライで教えてください！)	0%

25票・最終結果

II 未成年者の喫煙経験率の減少

1 現状

未成年者で喫煙経験がある者の割合

項目		県			全国（参考）				目標
		H25	H28	R1	H22	H24	H26	H29	
喫煙経験有の割合 ()内は調査対象者数	小5	1.2% (518人)	1.2% (507人)	/	/	/	/	/	0%
	中2男	3.2% (506人)	1.0% (491人)	/	13.0% (888人)	7.1% (1,568人)	6.5% (5,426人)	7.10%	
	中2女			/	8.7% (801人)	5.6% (1,465人)	4.1% (5,055人)	3.50%	
	高2男	4.8% (564人)	2.7% (510人)	0.9% (322人)	22.4% (1,173人)	14.1% (2,025人)	12.1% (8,348人)	10.50%	
	高2女				13.2% (1,601人)	7.1% (2,204人)	6.2% (9,390人)	5.20%	

出典：県「新潟県青少年健全育成実態調査」(H25, H28)、「新潟県子どもの生活実態調査」(R1)
 国 厚生労働科学研究費補助金「未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究」(H22, H24)
 厚生労働科学研究費補助金「未成年者の健康課題および生活習慣に関する実態調査研究」(H26)
 厚生労働科学研究費補助金「飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究」(H29)

2 県の取組

(1) 禁煙作品コンクール（～R3：禁煙ポスターコンクール）

① 概要

「たばこの煙のない環境づくり」をテーマに、県内の小中高生から禁煙、望まない受動喫煙の防止に関する作品を募集し、「喫煙と健康影響」についての認識を深めるとともに、県民への普及啓発を図る。

② 令和3年度からの変更点

- ・「デジタルアート部門」、「標語部門」新設に伴い「禁煙作品コンクール」に名称変更
- ・TeNY「フリップボード SHOW」や健康立県にいがた公式 Twitter により周知
(学校を介さない方法による周知方法を追加)

③ 令和4年度応募総数

93点（最優秀賞2点、優秀賞1点、佳作8点を表彰）

ポスター部門			デジタルアート部門			標語部門	合計
小学生の部	中学生の部	高校生の部	小学生の部	中学生の部	高校生の部	小・中・ 高校生の部	
11	11	応募なし	応募なし			71	93

（最優秀賞：【ポスター部門】中学生の部、【標語部門】小・中・高校生の部より各1点、
 優秀賞：【ポスター部門】小学生の部より1点、
 佳作：各部門より計8点、それぞれ選出。）

④ 受賞作品の取扱い

- ・最優秀作品で2023年のカレンダーを作成し、市町村、学校、医療機関等へ送付
- ・受賞作品はR5.1.12（木）～2.13（月）までの期間、県庁18階展望ギャラリーにて開催する「令和4年度禁煙作品コンクール受賞作品展」で展示

〈ポスター部門〉

【最優秀賞】 新潟市立鳥屋野中学校 2年 小田 杏奈 さん



◆審査員講評◆

- タバコの直接の害が表現されている作品が選ばれています。コンクールに応募していただくことが、タバコの害がどれだけ大きいかを理解する機会になれば幸いです。
- ただ訴えかける内容でなく、考えさせられる言葉に新しさを感じた、文字も色彩も美しく、わかりやすい。将来の家族を大切に思う作り手の気持ちが伝わる作品である。
- 絵画の技術が高いことはもちろんですが、自分だけなら大丈夫と思っている人たちに響くメッセージであると思います。家族から喫煙がどう思われているのか考えてもらえる作品です。
- デザイン、色彩にすぐれ、目につきやすい。家族の表情が細かく描かれていて、心情が伝わってくる作品。

【優秀賞】

新潟市立東山の下小学校 4年
白川 愛梨 さん



【佳作】

新潟市立女池小学校 5年
佐藤 杏 さん



【佳作】

新潟市立上所小学校 6年
高橋 快 さん



【佳作】

新潟市立亀田東小学校 6年
松本 護也 さん



【佳作】

新潟市立亀田中学校 1年
五十嵐 美悠 さん



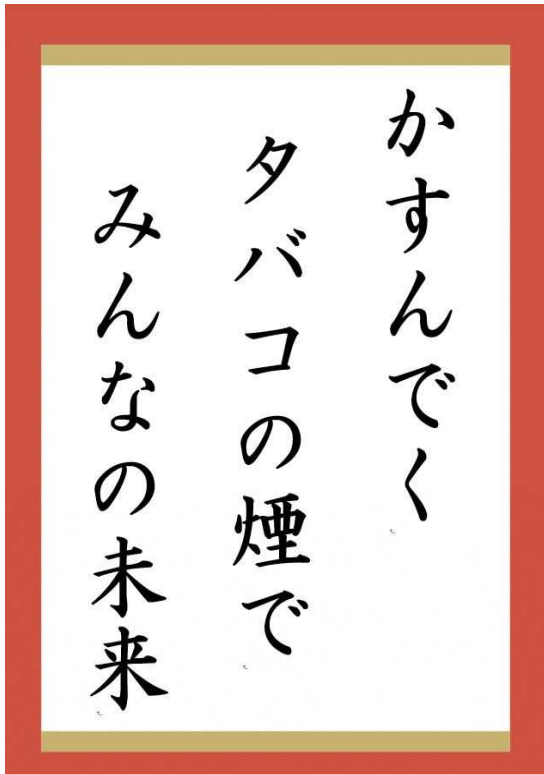
【佳作】

新潟市立宮浦中学校 2年
白井 文佳 さん



〈標語部門〉

【最優秀賞】 開志学園高等学校 1年 小菅 俊輔 さん



◆審査員講評◆

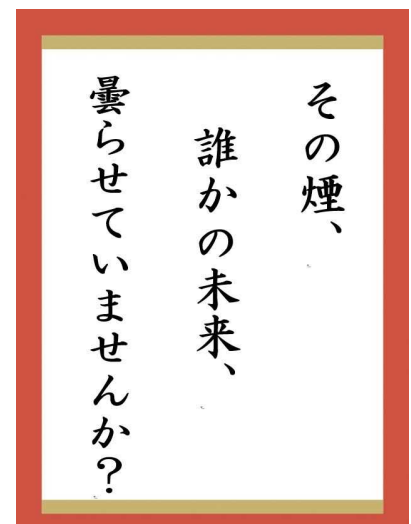
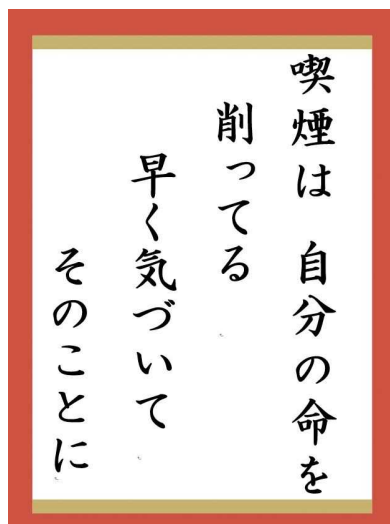
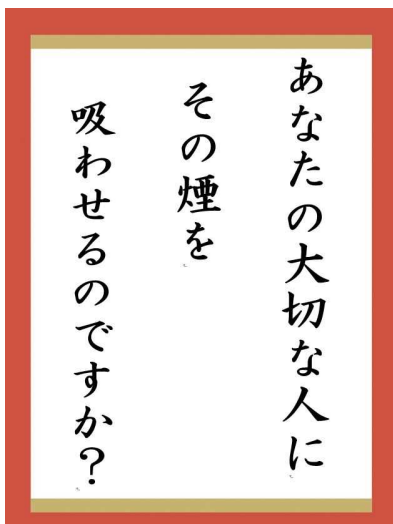
- 応募作品はいずれも力作で甲乙つけがたいものでした。タバコが皆の未来に与える影響が感じとれる作品が選ばれています。
- テーマ、創造、親和性の全てにおいて、訴えかけるものがあつた。未来を大切にせねばと、言葉だけで情景が浮かんでくる作品と思う。かすむ=タバコの煙、かすんでく→未来とのかけ合わせもうまい。
- タバコの煙によって、明るい未来が見通せない不安と、実際の煙が周囲の景色や人々の表情をくもらせている様子が伝わってくる作品です。「かすんでく」という言葉を選んでいるところに驚きました。
- こった表現ではなく、子どもたちにも分かりやすく、リズム感もよい。タバコの煙は大切な人を含め、将来ある子どもたちに大きな影響があることがよく伝わってきて、共感も得られる作品である。

【佳作】

新潟市立亀田東小学校 6年
松本 護也 さん

開志学園高等学校 1年
小黒 琉羽夏 さん

開志学園高等学校 3年
高嶋 優成 さん



(2) 地域機関における出前講座・情報提供等の実施（実施予定含む）

実施事業所等	実施保健所	日時	参加者数等	内容
上越テクノスクール	上越	R4.5月		掲示によるたばこの害の啓発
管内の高校、特別支援学校及び関係機関	上越	R5.1月	2,600部	健康情報誌（ボンボヤージ）の配布によるたばこの害の啓発